

持ち込みは土曜のみに 草木の拠点回収が変わります

☎ 027-898-6272

草木類の拠点回収の実証事業開始から3カ月が経過し、たくさんの草木類の持ち込みがありました。今後も持続可能な仕組みとするため、10月1日(木)から一部運用方法を変更します。



回収拠点	日時
総社市民サービスセンター	第1土曜
カインズ 前橋青柳店	第2土曜
東市民サービスセンター	第3土曜
カインズ 前橋小島田店	第4土曜

※11月の第1土曜の回収拠点はカインズ 前橋小島田店です。

●変更点

- ・持ち込み日は土曜のみ9時30分～15時です。
- ・回収拠点は週によって異なります。
- ・各持ち込み日、規定の量(10コンテナ分)に達した時点で受け付けを終了します。

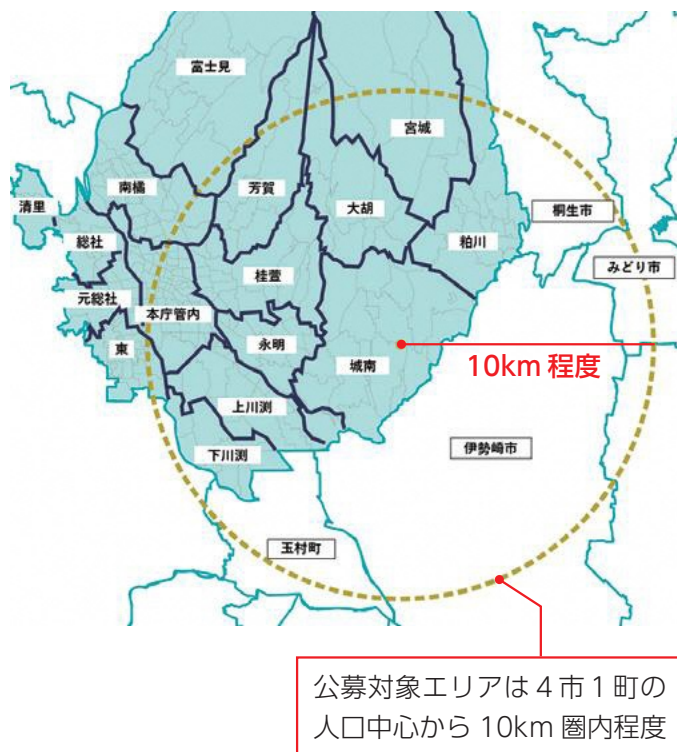
4市1町の新清掃施設 建設候補地を公募します

☎ 027-898-5846

本市と桐生市、伊勢崎市、みどり市、玉村町の4市1町で新たな焼却施設と資源化施設の整備を共同で進めています。清掃施設の整備にあたり、建設候補地の公募を実施。公募対象エリアは4市1町の人口中心から10km圏内程度です。4市1町の区域内においてハザードマップなどを考慮し抽出した候補地の中から選定します。選定は学識経験者を含む「ごみ処理広域化適地検討委員会」の意見を踏まえながら進めます。応募条件など詳しくは二次元コードのホームページをご覧ください。
新設する施設=焼却施設(約2ha)と資源化施設(約2ha)

応募申込書の配布=市役所ごみ政策課、各支所・市民サービスセンターで。本市ホームページにも掲載します

☎ 9月10日(木)～12月18日(金)に応募申込書を市役所ごみ政策課(☎ 027-898-5846)へ直接



ごみの減量を考える委員を募集

☎ 027-898-6272

ごみの減量や資源化を考える委員を募集します。

任期=10月30日(金)～令和10年10月29日(日)

☎ 次の全てを満たす人、3人(選考)。**①**市内在住で20歳以上**②**年数回、平日の会議に出席できる**③**本市の審議会などの委員になっていない

☎ 9月18日(金)までに郵送で。住所・氏名・生年月日・性別・職業・電話番号・応募動機や抱負をA4版縦に横書きで記入し、市役所ごみ政策課(☎ 027-898-6272)へ

ごみを減らす
取り組みを



適正な人員管理を実施 市職員の給与や人数を公開します

☎ 027-898-6504

市職員の給与や人数の状況をお知らせします。昨年度の本市の人件費の支出状況は、全体の歳出額1,529億7,578万円のうち、236億8,344万円で、人件費比率は15.5%。前年度比プラス0.7%でした。



1 部門別職員数の状況										
全職員数	一般行政部門						特別行政部門		公営企業会計部門など	
	議会	14人	民生	463人	農林水産	70人	教育	368人	水道	86人
	総務	419人	衛生	238人	商工	41人	消防	414人	下水道	55人
	税務	123人	労働	4人	土木	254人	—	—	その他	132人

※職員数は、一般職に属する職員数。再任用短時間勤務職員と臨時職員などの非常勤職員を除く。

2 職員の平均給料月額・平均給与月額・平均年齢					
一般行政職			技能労務職		
平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
35万1,490円	42万528円	43.8歳	30万8,390円	34万6,209円	50.8歳

※平均給与月額は、給料月額に扶養手当などの諸手当を加えた平均の月額。

3 職員の初任給				
区分		前橋市	群馬県	国
一般	大卒	23万6,300円	23万6,300円	23万2,000円
行政職	高卒	20万5,200円	20万5,200円	20万300円
消防職	高卒	23万5,100円	—	—

地域とつながる 前橋工科大学 ～暮らしを支える工学～

☎ 前橋工科大事務局 ☎ 027-265-0111

Vol. 3 情報・生命工学群

LINEで送った情報が、間違いなく瞬時に届くのはなぜでしょうか。毎日乗る自動車は、さまざまな危険を知らせてくれます。また、最近の洗濯用洗剤は、汚れがよく落ちるようになったと思いませんか。これらの身近な事柄は、情報を素早く分類する技術、センサーで得られた情報を処理して適切に機械を制御する技術、そして汚れを分解する強力な酵素を生み出す技術などの研究成果によるものです。このような研究は、工学、特に情報と生命に関わる分野に分類されます。

情報・生命工学群では、情報と生命をキーワード

に、それらに関連する分野の研究・教育を行っています。学群は、さらに「情報システムプログラム」「医工学プログラム」「生物応用プログラム」のコースに分けられ、各プログラムには約10人の教員が所属しています。



情報システム
Information Systems



医工学
Medical Engineering



生物応用
Applied Biology

情報システムプログラムでは、情報に関わる基礎的な数学から、情報技術のバイオ分野への応用、さらには急速に発展しているAIやバーチャルリアリティなど、幅広い情報技術の応用研究をしています。医工学プログラムでは、電子情報工学を基盤として、脳や神経に関する医療・福祉分野の研究や、ロボットから宇宙にまで及ぶ広範な情報通信システムの研究を実施。生物応用プログラムでは、生物の力を活用し、食品・医薬品の開発や廃棄物の有効利用、環境保全のための取り組みなど、それぞれの研究室が独自性のある研究を展開しています。情報・生命工学群では、これらの研究・教育を通して、情報、通信、バイオテクノロジー分野で活躍できる人材の育成を目指しています。

今回は地域貢献活動や地域連携についての紹介です。お楽しみに！